

1 題材名 「絵！？文字！？」

2 目 標

- ・形や色彩の美しさに関心をもち、自分らしい表現を工夫しながら意欲的に制作に取り組もうとする。
(美術への関心・意欲・態度)
- ・構成や色彩や技法による効果を考え、自分の意図が相手に伝わるような独創的で豊かな構想を練ることができる。
(発想や構想の能力)
- ・自分の表現したい意図に応じた材料や用具の使い方などの基礎的技能を身につけることができる。
(創造的な技能)
- ・美術作品や児童生徒の表現などに親しみ、いろいろな見方や感じ方や発想の仕方、知識等を学び取り、そのよさや美しさ、鑑賞の喜びなどを味わおうとする。
(鑑賞の能力)

3 題材の評価規準

観 点	A表現(2) (3), B鑑賞 共通事項(1)			
	ア:美術への関心・意欲・態度	イ:発想や構想の能力	ウ:創造的な技能	エ:鑑賞の能力
内容のまとまりとしての評価規準	身近なもののよさや美しさ、表現方法などに関心をもち、意欲的に美術の基礎的能力を身につけようとし、それを生かして楽しく表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい美術を愛好していこうとする。	他者の立場に立ち、伝えたい内容が分かりやすい構成や装飾などの美的感覚を働かせたり、豊かに発想し構想する基礎的能力を身につけたりして、形や色で美しく表す表現の構想をする。	美しくレタリングする力、形や色彩の表し方、材料や用具の生かし方などの基礎的技能を身につけ、造形感覚や美的感覚などを働かせ、表現意図に合う多様な表現方法を創意工夫し、美しく表す。	感性や想像力を働かせ、作者の心情や意図と表現の工夫、多様な表現のよさや美しさなどを感じ取り、味わい、作品に対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げる。
題材の評価規準	【表現】 自分の意図を他者に伝えるために必要な美術の基礎的能力を身につけようとする。 試行錯誤を通して自分らしい表現を創意工夫しようとする。 【鑑賞】 参考作品や友達の作品から、多様な表現方法の工夫やおもしろさを味わおうとする。	他者の立場に立って、伝えたい内容について分かりやすさや美しさ、おもしろさなどを考え、構想を練ることができる。 色の感情や機能を基に、条件にあった効果的な配色を考えることができる。	形や色彩などの表し方や、材料や用具の生かし方などの基礎的技能を身につけることができる。 必要な色を絵の具の混色によってつくり出すことができる。	参考作品や友達の作品の鑑賞を通して、作者の意図や工夫点から表現のおもしろさを感じ取ることができる。 参考作品や友達の作品の鑑賞を通して感じ取ったことを自分の言葉で説明することができる。
学習活動における具体的評価規準	【表現】 興味をもっておもしろいアイデアや伝わりやすい工夫を考えようとする。 意欲的に活動に取り組み、よりよい作品になるよう丁寧に制作しようとしている。 【鑑賞】 参考作品や友達の作品を味わい、よさを見つけようとする。	自分の伝えたい内容を明確にし、他者に伝わるような表現方法を構想する。 トーンによる配色の効果を理解し、自分の表現意図にあった効果的な配色を考えることができる。	伝えたい内容にあった形や配色、材料を選択し、用具を適切に使用しながら表現することができる。 必要な色をアクリル絵の具の混色によってつくり出すことができる。	作者の意図や工夫点に気づき、表現のおもしろさを感じ取ることができる。 感想や自分なりの考えを言葉で書くことができる。

4 指導と評価の計画（12時間扱い、本時は11～12時間目）

次	時間(分)	主な活動内容
第1次	30	絵文字作品の鑑賞
第2次	220	モダンテクニック、色の特徴とその感情効果の説明、アイデアスケッチ
第3次	250	基礎的な技能（筆の使い方、色の作り方）の説明、作品の制作
第4次	100	鑑賞活動

次	時間(分)	学 習 活 動	評 価				評価方法（：Cへの手だて）
			関心	発想	技能	鑑賞	
第1次	30	- 参考作品を鑑賞し、作者の意図や工夫点を話し合う。 (1)色の工夫について (2)形や構成の工夫について (3)材料の工夫について (4)発想の工夫について (5)題名の工夫について	A-			I-	□学習プリント・学習カードのチェック □鑑賞の様子、授業での発表指導者による説明を加え、より具体的な工夫点や、文字に込められた作者の意図を紹介する。
第2次	220	- 色彩や形や材料や技法など、視覚的な工夫が与えるイメージや制作のための手順などを学び、発想の幅をひろげながらアイデアスケッチをする。 マーブリング、ドリップング、スパッタリング等、モダンテクニックの技法を学び、そこから感じるイメージを言葉で表現する。 - 色のもつ特徴や感情表現について学習する。 (1)色が伝えるイメージを考える (2)色の感情効果を考える	A-	I-			□スケッチブックより □アイデアスケッチのチェック - 具体的に形容詞をいくつか挙げさせて、その中からイメージに合う言葉を選択させる。 □学習プリントのチェック □作品より資料集を活用する。
第3次	250	- 基礎的な描画方法の説明を学び、画面構成や色彩を工夫して制作する。 (1)はみ出さないような筆の使い方 (2)ムラにならないぬり方 (3)混色の方法 (4)修正の方法 - 伝えたい意図が伝わるような題名を考える。	A-		U-		□作品より個別に用具の使い方等、技術指導をする。 □学習カードより
第4次	100	- 自分の作品を観て工夫点やよいところや改善点を見つけだし、文章でまとめる。 (1)自己診断(自己PRや改善点) (2)「自己紹介カード」の記入 - 友達の作品を鑑賞し、工夫点やよいところを感じ取る。 (1)「自己紹介カード」にシールを貼る (2)「いいところ発見シート」に記入する (3)工夫点やよいところを発表し合う (4)指導者のまとめの話 (5)感想をまとめる	A-			I- I-	□学習カード、自己紹介カードより 「なにがどうして」そう思ったのか、個別に対話する中で指導する。 □鑑賞の様子 □いいところ発見シート - 配色、形、材料、背景など、作品をみるポイントを示唆する。 □「自己紹介カード」の感想より

5 本時の学習（100分）

○ねらい

友達の作品を鑑賞することにより、多様な表現のあることを知り、それぞれの作品に込められた作者の意図や工夫点を感じ取ることができる。

学習活動	教師の支援																																																								
友達の作品のよいところや工夫点をたくさん見つけよう ・「いいところ発見隊シート」、「自己紹介カード」の配布 ・鑑賞方法の説明を聞く。	【自己紹介カード】 友達のカードを読み、鑑賞する。 自分が感じ取った工夫点は何か、見つけ出す。 ・赤:アイディア ・青:題名 ・黄:技術 自分の出席番号に赤か青、黄色のいずれかのシールを貼っていく。 <table><tr><td colspan="8">題名</td></tr><tr><td colspan="8">ここをみてちょうだい!!</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr><tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr><tr><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td>32</td></tr><tr><td>33</td><td>34</td><td colspan="6">赤:アイディア 青:題名 黄:技術</td></tr></table>	題名								ここをみてちょうだい!!								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	赤:アイディア 青:題名 黄:技術					
題名																																																									
ここをみてちょうだい!!																																																									
1	2	3	4	5	6	7	8																																																		
9	10	11	12	13	14	15	16																																																		
17	18	19	20	21	22	23	24																																																		
25	26	27	28	29	30	31	32																																																		
33	34	赤:アイディア 青:題名 黄:技術																																																							
もっとも工夫したと思うポイントを見つけ、シールをはろう ・クラス全員の作品を鑑賞し、全員の「自己紹介カード」にシールを貼る。	● 全員に観てもらえたかの確認になるので、貼り忘れた生徒がいないか呼びかけをし、確認をする。																																																								
作者の意図が伝わり、印象に残った作品を5つ選ぼう ・金シールを一人につき5枚もらう。 ・一番気に入った作品の自己紹介カードに金色のシールをはる。	● 「仲のよい友達だから」「男子を選ぶのははずかしいから」など誤った考え方で作品を選ばないように注意を促す。																																																								
「いいところ発見隊シート」に感じたことを詳しく書こう ・なにがどのようによいのか、具体的に記入する。 【目のつけどころ】 文字の意味が伝わるかどうか 色(配色)の工夫 素材の工夫 題名の工夫 技術の正確さ	● 選んだ作品については「いいところ発見隊シート」を活用し、その作品のよさや工夫点を言葉で表現させる。 ● 漠然としたイメージはあるものの、どのように言葉で説明したらよいか分からない生徒には個別に指導をし、多くの形容詞を挙げて支援する。 ● 自分の作品と比べることで、友達の作品の工夫点や努力点が見えてくることを呼びかける。 ● 「目のつけどころ」として、いくつかの鑑賞ポイントを板書し、より深く作者の意図を感じ取らせたい。																																																								
それぞれの作品のいいところを発表し合おう ・挙手による発表 ・制作者から作品の説明 ・列ごとによる発表	● 「自己紹介カード」の金シールが多かった上位5人の作品を黒板に掲示し、全員で評価し合う。 ● 制作者が制作の意図や工夫点を発表することで、他の生徒は自分の感じたこと、気付いたことに自信をもって発言できるようになって欲しい。 ● 同じ生徒による偏った発表に陥りやすいので、列ごとに指名をし、全員が発表できるよう配慮する。 ● 教師による説明を加え、生徒の発表だけでは表出しなかった工夫点を説明し、新たな感じ方や発想の多様性に気付かせたい。																																																								
鑑賞の授業を通して感じたことをまとめよう ・「自己紹介カード」の裏面に、鑑賞で感じたこと、考えたこと、これからがんばりたいことなど、自由に書かせる。 ・「自己紹介カード」、「いいところ発見隊シート」を提出する。	● 友達にシールを貼ってもらった感想や、金シールを貼ってもらえた感想、そして全員で発表しあった鑑賞活動すべてをふくめて、印象に残っていることを自由に書かせる。																																																								



← 柿を緑にぬること
で「猿蟹合戦」だ
ということが伝わ
る。リアルな手足の
描写をがんばって
いた。

風が吹けば桶屋が
儲かるという諺を取
り入れた作品。背
景の青で風を表現
しようとした →



↑ 海の深さをグラデーションで表している。色の
三原色を用いることで、夏の元気な感じを出そう
と工夫していた。



↑ 「エデンの園で、原罪」と題名を
工夫し、見る人に絵文字に込めた
自分の考えを伝えた。蛇の鱗を一
枚一枚描いていねいさもある。



↑ 資料集からアイディアを取り入
れた作品。金箔の地も本物のよう
に見えるよう、工夫して混色した。



↑ 背景を描き込み、より状況が分かりやすくな
るよう工夫している。水面に反射する陰まで気
を配り、表現しようと努力していた。



↑ より「アンらしさ」を出そうと、赤い毛糸を持っ
てきて三つ編みを作った。作者は男の子だっ
たので、クラス的女子に三つ編みをやってもら
っていた。また、麦わら帽子を取り入れ、さら
に赤毛のアンの世界を創りあげようと努力して
いた。



↑ 歴史で習ったばかりの「高床
式倉庫」をヒントにした作品。「ね
ずみ返し」の板を本物のバルサ
材で貼り付けている。



↑ 「黒」という文字を「白」でぬっているとい
うところに作者のこだわりが感じられる。



→ 浅草の歴史や文化をインター
ネット調べ、「雷門」の画像
を印刷し、貼り付けた。うまく描
けない生徒はコラージュで表
現するなど各自工夫をしている。